



九州大学の入試選抜結果および 今後の入試動向についての 説明、質疑応答

林 篤裕

(九州大学 高等教育開発推進センター
& アドミッションセンター)

(21世紀プログラム基幹教員)

e-mail: hayashi@rche.kyushu-u.ac.jp



九州大学 概要

総長1・理事8・監事2 計11名

学部 11 (+1)
大学院学府 18

附置研究所等 4
附属図書館 1 (分館5)
(蔵書約400万冊)
病院 1 (約1,400床)
全国共同利用施設 1
学内共同教育研究施設 32
機構 4

2009年5月1日現在

学部学生 11,713名
(女子 3,468名)
大学院生 6,843名
(女子 1,775名)

外国人留学生
1,509名 (81ヶ国・地域)
学生の海外留学 2009年度
154名 (23ヶ国・地域)

教員 2,186名
教授 719名
准教授・講師 748名
助教他 719名
事務・技術職員
2,600名

学部卒業
約12.7万人
修士修了
約4.1万人
博士学位
約2.4万人

土地 約75km²
福岡、長崎、熊本、
大分、宮崎、鹿児島、
北海道



2011年度(平成23年度) 入学者選抜 (予定)

一般入試
センター試験+個別学力検査

前期日程

全11学部 2,023人

79.1%

後期日程

教育、医・保健、薬、芸工を除く
8学部 336人

13.2%

入学定員
2,556人
11学部
+
21世紀
プログラム

AO入試

AO入試 I

[センター試験を課さない]

教育、薬、
21世紀プログラム
48人

7.7%

AO入試 II

[センター試験を課す]

理(全学科)、医・保健、
歯、芸工(全学科)、農
149人

帰国子女
私費外国人留学生
社会人

1. 21世紀プログラムで入学した学生の状況をお聞きしたい。

[枠内は原文まま。以下同様。]

◆「学生の状況」

- ◆人数
- ◆履修状況
- ◆卒業研究
- ◆卒業後の進路
- ◆志願者数の推移
- ◆合格者の出身地

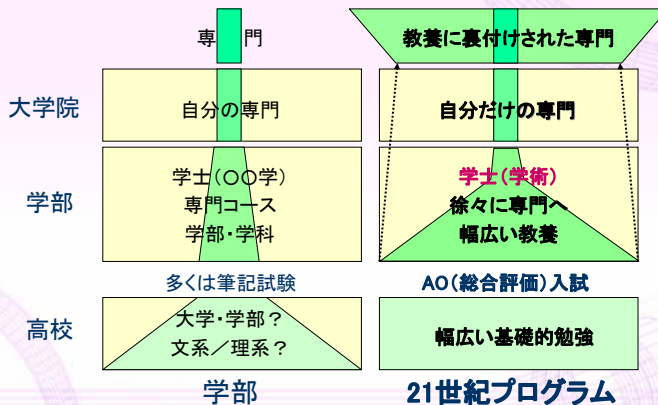
21世紀プログラム:教育の枠組み

2003年度 文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択



幅広い教養、表現力、国際性を身につけ、チューターの指導を受けつつ、
いろんな学部の専門を組み合わせ「自分だけの専門」を創る。

専門を決める



課程現況

入学年度		募集人員	合格者	入学者	転課程	退学	卒業者	交換留学	
卒業	1期 2001	18	20 (5)	20 (5)	1 (0)		21 (5)	9	
	2期 2002		22 (6)	22 (6)	2 (1)	1 (1)	23 (5)	4	
	3期 2003		21	19 (5)	19 (5)	1 (1)	1 (0)	19 (6)	6
	4期 2004			25 (5)	25 (5)		3 (1)	22 (4)	2
	5期 2005			30 (12)	30 (12)	1 (1)	1 (1)	29 (11)	12
	6期 2006			27 (7)	26 (7)	2 (1)		24 (7)	5
在学	7期 2007	26	27 (9)	26 (8)	1 (1)			10	
	8期 2008		27 (10)	27 (10)	2 (1)			3	
	9期 2009		28 (7)	27 (7)	1 (0)			4	
	10期 2010		27 (6)	27 (6)					
総計			252 (72)	249 (71)	11 (6)	6 (3)	138 (38)	55	

在学学生数 116

2010/4/1現在

()は男子で内数

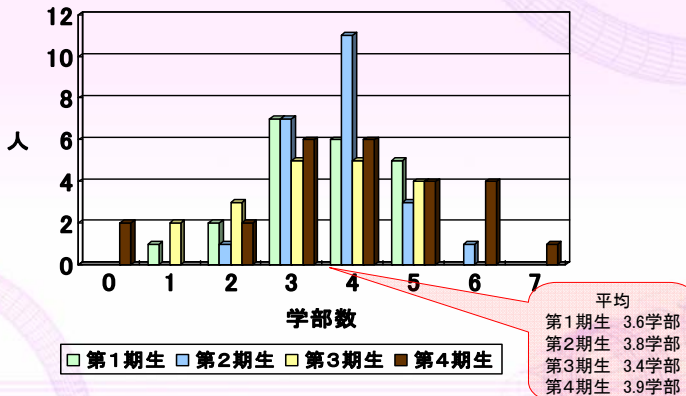
7

第1期生の履修履歴

学生	文	教	法	経	比	理	医	薬	工	芸	農	学部計	文系	理系
a	11	44	4									3	59	100
b		38	14	2								3	54	100
c	6	10	74	6								4	96	100
d	7	2	50	2								4	61	100
e	2					2						63	3	67
f												49	1	49
g	18		16									2	34	100
h	12	22	4									3	38	100
i	10	20	4	2								4	36	100
j	4	4	6	28					2			2	5	42
k	23	12		2					2			4	39	95
l	4	2	22	2								2	5	32
m	28	2		10					6			2	5	48
n	10		4	6		10						4	5	34
o	12		4	6								38	4	60
p	10			2		4						4	40	30
q	8	10	8	14								4	40	100
r	14		10	8					2	2		5	36	89
s	4		10	20								8	4	42
t	4	8				8		3				21	5	44
u	8	14	2			8		25				5	59	44

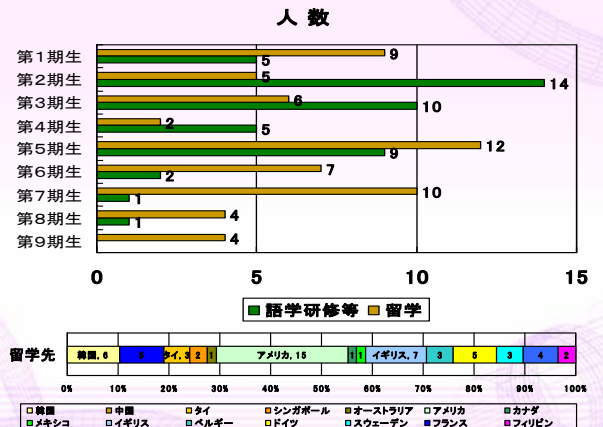
留学 履修申請 卒業研究 比較社会学文化研究 8

履修学部数 単位取得学部数



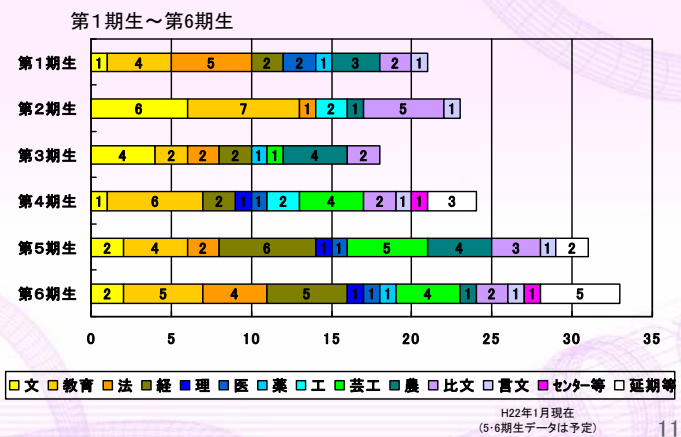
9

留学・語学研修 (予定を含む)



10

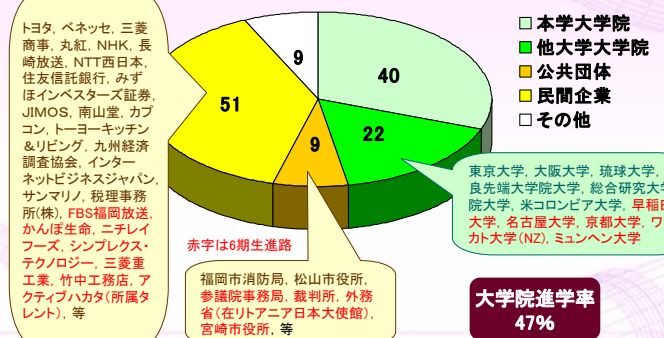
卒業研究



11

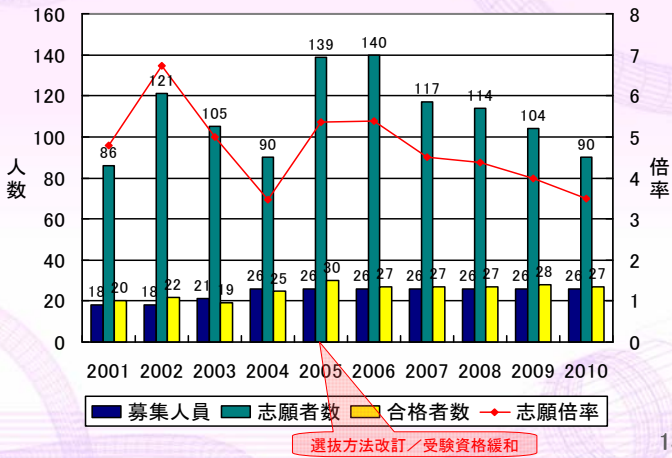
卒業生の進路

卒業した第1期生～第6期生 (予定を含む)



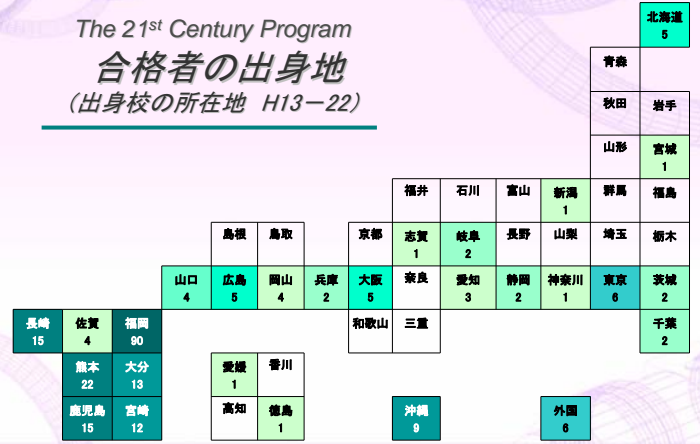
12

志願者数の推移



13

The 21st Century Program 合格者の出身地 (出身校の所在地 H13-22)



14

3. 個別学力検査の各科目の得点と合計点について、今年の合格者最低点を教えてください。

- ◆「大学案内2011」に掲載：P35、P36
 - ◆出来立てホヤホヤ
- ◆個別学力検査のみの情報は公開していません
 - ◆センター試験との合計得点での情報を掲載
- ◆掲載情報
 - ◆学部・学科名、日程、募集人員、志願者、受験者
 - ◆合格者：人数、倍率、現役、比率、浪人、比率、県内、県外、最高点、最低点、平均点
 - ◆満点、志願者女子数、合格者女子数、合格者男子比、合格者女子比

15

3. 個別学力検査の各科目の得点と合計点について、今年の合格者最低点を教えてください。

◆平成22年度入学者選抜実施状況（一部）

学部	日程	募集人員	志願者	合格者			満点
				最高点	最低点	平均点	
P35 文学部		159	655				
	前期	134	363	600.3	505.3	530.7	775
	後期	25	292	447.3	400.2	418.9	575
		199	648				
P36 法学部		159	395	679.0	577.7	615.0	900
	後期	40	253	506.6	408.7	431.9	600
		224	788				
	理学部		48	143			
P36 物理学部	前期	42	76	984.9	696.0	766.1	1150
	後期	6	67				500
		51	187				
	化学部	前期	41	99	872.7	700.4	766.9
	後期	10	88	1016.8	926.0	965.3	1100
		27	126				

2. 入試科目について、今後、変更の予定があれば教えてください。

<http://www.kyushu-u.ac.jp/entrance/examination/>

2. 入試科目について、今後、変更の予定があれば教えてください。

- ◆ <http://www.kyushu-u.ac.jp/admission/H22youkouteiseiigakubu.pdf>
 - ◆平成22年度一般入試 医学部医学科の入学定員の変更について
- ◆ <http://www.kyushu-u.ac.jp/admission/H23yokoku-geikouAO.pdf>
 - ◆平成23年度入学者選抜方法について(芸術工学部)
- ◆ <http://www.kyushu-u.ac.jp/entrance/examination/H24yokoku.pdf>
 - ◆平成24年度入学者選抜(一般入試(前期日程、後期日程)及びAO入試Ⅱ)の実施教科・科目等
- ◆ <http://www.kyushu-u.ac.jp/admission/H24yokoku-sugakuka.pdf>
 - ◆平成24年度入学者選抜方法について(理学部数学科)

18

【大学案内2011: P33】

入学者選抜の変更等

平成23年度(2011年度)入試 (現高校3年生以降)

理学部	・後期日程: 8人→10人
地球惑星科学科	・AO入試 : 10人→8人
医学部 医学科	・前期日程: 90人→95人 (H22実施済み)
歯学部	・前期日程: 37人→35人 (認可申請予定)
芸術工学部 環境設計学科	・前期日程: 27人→29人 ・AO入試 : 10人→8人 ・AO入試における 理科の選択科目数: 2科目→1科目

19

【大学案内2011: P33】

入学者選抜の変更等

平成24年度(2012年度)入試 (現高校2年生以降)

大学入試 センター試験 地歴・公民と理科は1コマ実施とし、
その中で1~2科目選択

●九州大学としても: 詳細はWebで

- ◆ 地歴・公民: 4単位科目が基本
 - ◆ 例外: 法、歯、薬、農 <=== 前期日程では
- ◆ 医学部医学科
 - ◆ センター試験: 生物Iが必須 & 「物理I、化学I」から1科目
 - ◆ 個別試験: 物I/II、化I/II 必須

20

【大学案内2011: P33】

入学者選抜の変更等

平成24年度(2012年度)入試 (現高校2年生以降)

個別学力試験

経済学部 経済工学科	前期日程: 国語(現代文)を課す
理学部 数学科	後期日程に一般枠(4名)と女性枠(5名)を設定。 試験科目は数学(一般枠)、数学と英語(女性枠)。
医学部 生命科学科	後期日程: 廃止

21

4. AO入試について

- ・今後、AO入試の枠を拡大される予定はありますか?
- ・センター試験を利用しないAO入試(教育学部、薬学部)は、しばらく続けられるのでしょうか?
- ・センター試験を課すAO入試で、センター試験とその他(面接、小論文など)を総合して合否を決めるとありますが、試験全体の中で特に重視する項目があれば教えていただきたい。

- ◆ 選抜方法は学部・学科ごとに判断。
- ◆ 現時点では続けます。
- ◆ 柔軟な発想・思考力、判断力、意思疎通力等、センター試験では測りにくい項目を中心に。

22

九州大学AO入試 2011年度AO入試(予定)

文学部	8
教育学部 ★	10
法学部 2009年で終了	
経済学部	
理学部	
物理	10
化学	15
地球惑星	8
数学	8
生物	5
医学部	
生命科学	
看護	9
保健	6
放射線	6
検査	6

2世紀プログラム ★

26

歯学部	8
薬学部 ★	
創薬科学	6
臨床薬学	6
工学部	
環境設計	8
工業設計	15
芸術工学部	
画像設計	18
音響設計	5
芸術情報設計	8
農学部	20

7+1学部 19募集区分
総募集人員 197名
★: センター試験を課さない

定員の 7.7%

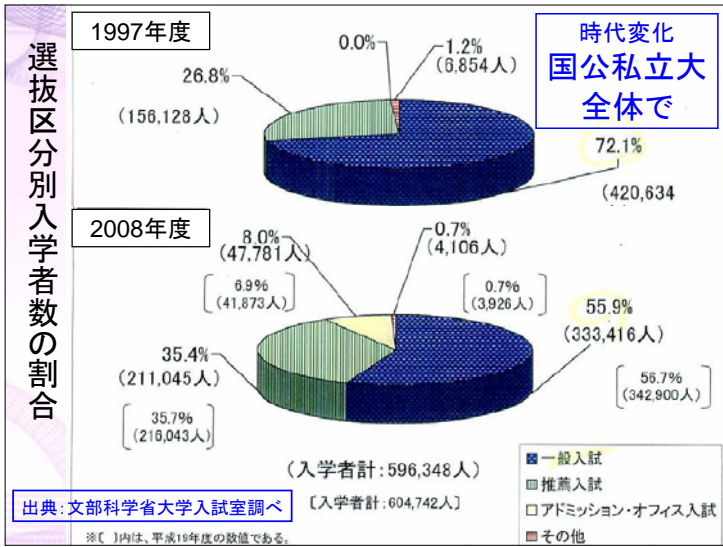
23

AO入試: 国立大と私立大

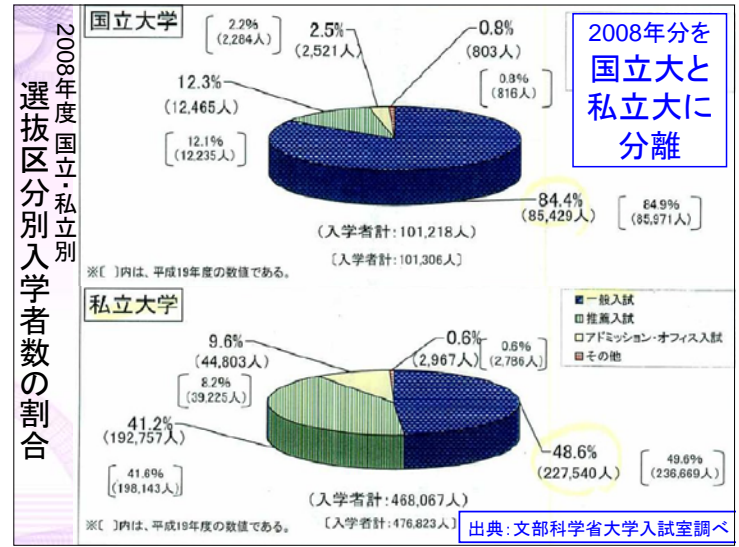
- ◆ 九大の場合: 定員 197名(7.7%)
- ◆ 設置者に因って明らかに異なる
 - ◆ 割合 ==> 次ページ
- ◆ 試験方法
- ◆ 導入目的も?
- ◆ 国立大: 「学力不問」ではない
学力も重要な「評価対象」の一つ

24

選抜区別別入学者数の割合



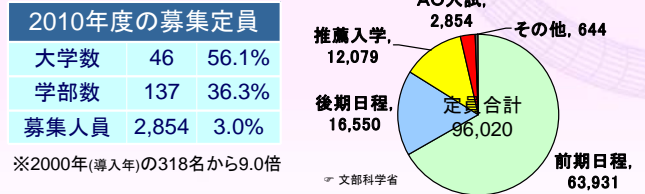
2008年度 国立・私立別 選抜区別別入学者数の割合



日本のAO入試

- ◆ 国公立大学と私立大学とで全く異なると考えてよい
- ◆ アメリカのAO入試とも異なる
 - ◆ 主に事務員(Officer、not 教員)が関与
 - ◆ この中にもいくつかのタイプがあるのかもしれないが
- ◆ AO入試：同じ名称だが、3つとも違ったものである
 - ◆ 「日本の国公立大学」のAO入試
 - ◆ 「日本の私立大学」のAO入試
 - ◆ 「アメリカ」のAO入試
- ◆ それぞれは区別して議論すべき：国公立、私立、米
 - ◆ 区別しないと非生産的な議論にしかならない
 - ◆ 「学科試験を課していないから……」はダメ
 - ◆ 「AO入学の学生は……」はダメ

国立大学のAO入試の現状



◆ 実施46大学(新規3大学)

- ◆ 北海道^a、北海道教育、旭川医科^a、弘前、岩手^a、東北^a、秋田、山形、福島、筑波^a、筑波技術、宇都宮、群馬ⁿ、千葉、東京農工ⁿ、東京工業、東京海洋、お茶の水女子、電気通信ⁿ、横浜国立^a、富山^a、金沢、福井^a、山梨、信州、静岡^a、名古屋工業^a、三重、京都工芸繊維^a、大阪、神戸、奈良女子、鳥取^a、島根、岡山^a、広島^a、山口^a、愛媛^a、高知^a、九州^a、佐賀^a、長崎^a、大分^a、鹿児島、鹿屋体育^a、琉球^a
- ^aはACかAOを設置、ⁿは新規

5. 理学学部(工学部、理学部)におけるセンター試験の「地歴・公民」では、地歴の4単位科目しか認められていません。なぜ2単位科目の公民は選択科目に入れられないのか、その理由を具体的に教えてください。

- ◆ 入学後の授業履修に必要な科目を学部ごとに指定
- ◆ 「大学入試センター試験の出題科目の選択範囲等の変更への国立大学の対応について」：国大協企画第132号(平成20年11月17日)
- ◆ 前文：(1)大学入試センター試験における地理歴史と公民からの選択指定においては教科を問わず4単位科目を選択させること
- ◆ 4. 国立大学の対応について
 - ◆ 「基本方針」⇒⇒ 単位数の違いによる不公平を避けるように
 - ◆ (1)地理歴史と公民には、…… 2単位科目を含む任意の2科目を選択させることが可能となる。しかし、そのような場合、公平性の欠如という従来の方式の問題を継続することになる。また、…… 2単位科目のみ1科目を選択させることも可能であるが、それは志願者に「高等学校等において基礎的教科・科目を普遍的に履修する」ことを求める国立大学共通のアドミッション・ポリシーから乖離する。

6. 平成24年度入試からのセンター試験「倫理・政経」について法学部では「地歴B」から2科目必須、その他の文系学部については「地歴B」+「倫理・政経」から2科目必須とされています。いずれも4単位科目の指定ですが、「地歴B」2科目や「倫理・政経」(4単位)を課すことは、高校現場では大変厳しいことです。そこで、4単位科目を課すことになった経緯(2単位科目ではなぜ不可なのか)を教えてください。また、今後早い段階での変更が加えられる可能性はないのでしょうか。

- ◆ 入学後の授業履修に必要な科目を学部ごとに指定
- ◆ 公民科目は入学後に学習させる
- ◆ 早い段階での変更の可能性は少ないと思われる
- ◆ 前ページの国大協の方針に副って「4単位科目」
- ◆ 次ページ参照(法学部からの回答)

6. 平成24年度入試からのセンター試験「倫理・政経」について

- ◆ 九州大学法学部では、入学後の授業履修に必要な科目をセンター試験の指定科目としています。入試はそれまでの学力が水準に達しているかどうかを判断する機会であるばかりでなく、大学にとっては、入学後適切な修学を期待できる当学部にあった学生を獲得する機会でもあります。この観点から、法学や政治学は人類の長い歴史の中で生まれ、受け継がれ、展開してきたものであるので、本学部に入学される方には、ぜひ入学前に、法学・政治学学習の前提となる地歴分野の基礎的知識を修得しておいていただきたい、他方、公民分野の内容については法学部入学後に修学することができる、と従来から考えておりました。このたび地歴Bから2科目が選択ができることとなったため、早速これを導入したものです。
- ◆ 高校の現場にはご迷惑ご苦勞をおかけいたしますが、受験生本人の将来のためにご理解いただき、ご協力お願い致します。³¹

7. 各教科の入試について

(英語) 今年度個別試験の出来について、および出題に際しての考え方について、お答えしていただける範囲内であらうか。 (数学) 数学Ⅲの発展内容の取り扱いについて、受験する生徒は「曲線の長さ」、「微分方程式」を学習しておいたほうがよいのでしょうか？

- ◆ [英語] 昨年と同等か、ほんの少し平均点が上昇。
 - ◆ 英語能力: 読解、英作文、意見が書ける、“日本語”。
- ◆ [数学] 理系の4番を指しておられる?(サイクロイド)
 - ◆ 教科書に掲載されているものは学習してほしい。
- ◆ 指導要領の守備範囲(教科「数学」の問題)
 - ◆ 従来は「最大領域」。これ以上は教えてはダメ。
 - ◆ 現在は「最小領域」。これだけは教えてね。上限なし。
 - ◆ 教科書中の「発展」の解釈が異なる。どうしたものか。³²

7. 各教科の入試について

(数学) 数学Ⅲの発展内容の取り扱いについて、……でしょうか？

- ◆ 朝日新聞 3月9日：2010年度九州大学前期入試を振り返って/合格へのパスポート
- ◆ 数学: しっかり基礎を固めて確実に6割を取れる力を身につけたい
- ◆ 理系【問題分析】

昨年はやや難しい問題が多かったが、今年は全問とも教科書に沿った標準的な問題であり、例年の九大らしい出題に戻った。

[1]は三角比の……

[4]はサイクロイドの面積、線分の長さに関する出題。教科書でも例題として取り上げられており、授業をしっかり聞いて学習してきた人にとっては平易な問題であったと思う。ただサイクロイドの媒介変数表示は知っていても、それを導く過程まで理解できている人は少ないのではないだろうか。定理、公式を使いこなすだけでなく、その証明も手を抜かずしっかりやっておくべきだろう。なお、(3)は教科書では発展問題として取り上げられている内容だが、九大レベルの大学の受験にあたっては発展問題といえどもしっかりやっておくことが必要だろう。³³

終わるにあたって

- ◆ ご期待に副えたでしょうか？
 - ◆ ほんの多少なりもと
 - ◆ 皆様のご検討の参考になれば
 - ◆ いろいろな議論の下地になれば
- ◆ 学生: 高校と大学の受け渡し
 - ◆ 高大連携 ==> 今後益々重要に
- ◆ より良い「受け渡し方法」の
実現を目指して



九州大学の出身地別入学者数

出身県	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	九州8県
	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合	人数 割合
北海道	11 0.4		15 0.6	14 0.5	13 0.5	
東京都	13 0.5	10 0.4			15 0.6	
神奈川県	10 0.4					
静岡県		10 0.4	12 0.5			
愛知県	15 0.6	16 0.6	22 0.8		26 1.0	
滋賀県					10 0.4	
京都府	13 0.5				15 0.6	
大阪府	16 0.6	29 1.1	21 0.8	20 0.8	24 0.9	
兵庫県	27 1.0	38 1.4	35 1.3	35 1.3	60 2.3	
鳥取県		22 0.8	18 0.7	12 0.5	16 0.6	
島根県	20 0.8	27 1.0	29 1.1	17 0.6	31 1.2	
岡山県	58 2.2	68 2.6	58 2.2	60 2.3	70 2.7	
広島県	104 3.9	126 4.7	119 4.5	119 4.5	102 3.9	
山口県	69 2.6	88 3.3	100 3.8	99 3.7	98 3.7	
香川県	19 0.7	14 0.5	13 0.5	26 1.0	15 0.6	
愛媛県	48 1.8	55 2.1	57 2.2	67 2.5	67 2.6	
高知県		14 0.5				
福岡県	1188 45.1	1140 42.9	1126 42.5	1086 41.1	1072 40.9	1188 80.7
佐賀県	166 6.3	150 5.6	142 5.4	152 5.7	140 5.3	166 12.1
長崎県	198 7.5	195 7.3	215 8.1	221 8.4	219 8.4	198 14.5
熊本県	142 5.4	147 5.5	168 6.3	185 7.0	145 5.5	142 10.5
大分県	122 4.6	116 4.4	114 4.3	134 5.1	122 4.7	122 9.1
宮崎県	103 3.9	108 4.1	96 3.6	99 3.7	110 4.2	103 7.7
鹿児島県	187 7.1	168 6.3	177 6.7	167 6.3	150 5.7	187 13.9
沖縄県	19 0.7	24 0.9	19 0.7	23 0.9	21 0.8	19 1.4
合計	2633 100.0	2658 100.0	2647 100.0	2644 100.0	2618 100.0	2633 100.0

九州8県 2125 80.7 2048 77.1 2057 77.7 2067 78.2 1979 75.6
 (「一般+AO」が10名以上の都道府県。最近5年)³⁵